

トレーラ1ヵ月新車点検にチェックリスト追加と費用改訂のお知らせ

変更点

トレクストレーラ1ヵ月新車点検記録簿の別紙としてチェックリストを追加し、1ヵ月新車点検時の締付トルクをチェックリストに記録して頂く様にしました。

追加したチェックリスト抜粋

トレクス(控)		チェックリスト				のトルク値を記		
エアサスペンション (エアサス) 車				※チェック欄には締付トルクを記入				
【前から1軸目】		名称	数	トルク N・m	(kg-m)	左	右	備考
①	アジャストボルト取付 ハードロックナット	内側	1	900	(91.8)		N・m	N・m
		外側	1	440	(44.9)		N・m	N・m
②	Uボルト		4	605~715	(61.7~73.0)		N・m	N・m
③	ショックアブソーバー取付ボルト		1	440	(44.9)		N・m	N・m
④	エアバック取付ボルト フレーム側		2	66	(6.7)		N・m	N・m
⑤	エアバック取付ボルト スプリング側		2	230	(23.5)		N・m	N・m
⑥	エアバックセンターボルト		1	230	(23.5)		N・m	N・m
⑦	リフト用エアチャンバー取付ボルト		1	350~380	(35.7~38.8)		N・m	N・m
⑧	四角シャフト取付ボルト		1	130	(13.3)		N・m	N・m

締め付けに使用したトルクレンチのトルク値を記

リーフサスペンション (バネサス) 車

【前から1軸目】							
名称		数	N・m	(kg-m)	左	右	備考
① Uボルト、ナット		4	490	(50)	N・m	N・m	
② ラジアスロッドの溝付きナットの割ピンの有無		2	—	—	有・無	有・無	
③ ロッカーアームピン溝付きナットの割ピンの有無		1	—	—	有・無	有・無	
④ ラジアスロッド取付ボルトの溝付きナット割ピンの有無		2	—	—	有・無	有・無	

※1ヵ月新車点検の増締め時ポイントを2ページ目にまとめました。
2ページ目をご参照ください。

点検費用の改訂

確実な増締めと、締付トルクの記録をして頂ける様に、サスペンションの種類と軸数ごとの金額設定にします。

旧金額

バネサス車 ￥6,000/台

エアサス車 ￥8,000/台

新金額

バネサス車 1軸車 ￥10,800/台

エアサス車 1軸車 ￥12,000/台

バネサス車 2軸車 ￥17,600/台

エアサス車 2軸車 ￥20,000/台

バネサス車 3軸車 ￥24,400/台

エアサス車 3軸車 ￥28,000/台

本紙に関するご質問等は日本トレクス株式会社サービス部まで。(TEL:050-3367-7494 FAX:0533-78-3137)

日本トレクス株式会社

サービス部

承認

松尾

審査

坪井

担当

茂木

トレーラ1ヵ月新車点検の増締め時ポイント

新車点検時増締め必要性について

新車製造時には、規定トルクで締付を行っていますが、初期なじみや、摩耗によって各部に緩みが発生しますので、必ず増締めが必要になります。

特にエアサス①アジャストボルト取付けナット、バネサス①Uボルトナットは初期なじみが大きくなりますので、確実に増締めを実施して頂く様にお願いします。

通常整備の3ヵ月法定点検、12ヵ月法定点検時にも各部増締めは必要になりますので、確実に実施して頂きます様にお願い致します。

ハードロックナット(特殊ダブルナット)取付け部について

ハードロックナットはナットが回って緩むことはほとんどありませんが、初期なじみや当り面の摩耗によって軸力が低下しますので、定期的な増締めが必ず必要になります。

ハードロックナット使用箇所(エアサス①アジャストボルト取付けナット)増締めについて

・車両にエアサスアジャストボルト締付要領ステッカーが添付してありますので参照して下さい。

・必ず凹ナット(外側ナット)を緩めてから、凸ナット(内側ナット)を900Nmで増締めして下さい。

※ハードロックは凹ナットで凸ナットを強力に抑えていますので、凸ナットから回すとネジ山の噛み込みを起こしてしまいます。

・3ヵ月法定点検時にも必ず増締めが必要です。締付可能工具の準備をお願い致します。

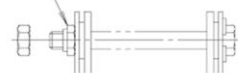
※倍力レンチセットを準備して頂きますと、1人作業にてジャッキアップ不要にて増締めが可能です。

エアサスアジャストボルト締付要領

3ヵ月毎に緩みが無いかを点検して下さい

(1) 以下に記した①→②の順序で締付して下さい。

①凸ナットを900N・mで締付ける



②凹ナットを440N・mで締付ける

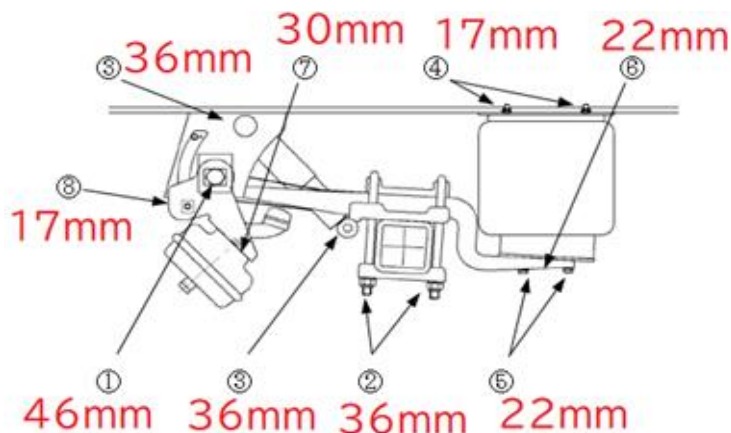


(2) 凸ナットと凹ナットは密着する場合としない場合がありますが、上記の順番と締付トルクを守ってれば、締付効果に差はありません。
また、一般のダブルナットのように2個のスパナを使用しナット同士を密着させる締付は必要な締付トルクが確保できない為、行わないで下さい。

960005-40119

各増締め箇所の締め付け工具二面幅について

エアサスの場合



リーフサスの場合

